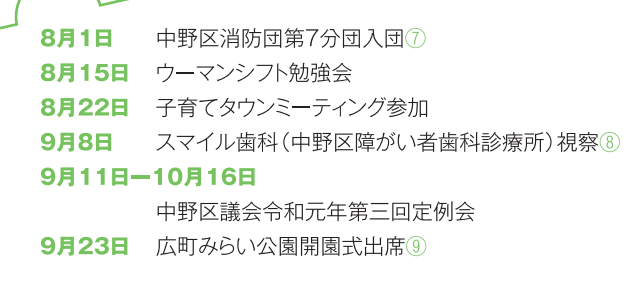


区議会・その他の活動

- 4月21日 中野区議会選挙①
- 4月28日 レインボーパレード参加②



- 5月19日 ふれあい運動会参加③
- 5月24日 中野区議会本会議第一回臨時会④
- 5月31日 ウーマンシフト勉強会⑤
- 6月14日 新宿区立こども総合センターあいあい視察
- 6月25日-7月11日 中野区議会令和元年第二回定例会
- 7月12日 緑の党新人議員向け勉強会
- 7月15日 区民版子育て会議参加⑥
- 7月22日 中野区議会新議員研修



- 8月1日 中野区消防団第7分団入団⑦
- 8月15日 ウーマンシフト勉強会
- 8月22日 子育てタウンミーティング参加
- 9月8日 スマイル歯科(中野区障がい者歯科診療所)視察⑧
- 9月11日-10月16日 中野区議会令和元年第三回定例会
- 9月23日 広町みらい公園開園式出席⑨

中野区議会議員

河合りな

第23期中野区議会議員として
活動をはじめました

こんにちは、河合りなです。
春の中野区議会議員選挙において
3428票をお預かりし、初当選いたしました。
私はこれまで、子育てのしやすい街は、
高齢者や障がいを持った方、
生きにくさを抱えている人たち、
誰もが暮らしやすい街だと訴えてまいりました。
区政に、当事者の皆さまの声を
届けてまいります。
未来へ希望あふれる中野区を、
共につくりましょう。



河合りなの考える 基本政策

SNSでも発信・受信中
子育てで居場所作りや、子育てについて語り合う会をする予定です。主に SNS などと呼びかけますのでぜひフォローをお願いします。また、中野区でのお困りごとやご意見などありましたら、各種連絡先、お気軽にご相談ください。

1 安心して子育てできる環境づくり
いつでも入れる保育所 (待機児童の解消)
保育所、幼稚園、学童クラブなど
すべての子ども施設における保育の質の確保、職員の待遇改善
子どもが楽しめる公園の整備、屋内の遊び場づくり

2 高齢者など多様性を尊重する街づくり
子ども、高齢者、障がい者など、マイノリティに配慮した防災、安心な中野を
実態調査に基づいた実効性のある対策

3 区議会改革
区民に開かれた区議会の実現
(託児室設置、区議会の録音・録画中継、傍聴者への資料配付など)



河合りなプロフィール

1979年生まれ・39歳。デザイナー。ひとり親家庭で育ち、奨学金でデザイン専門学校で学び、デザイン会社勤務後、現中野区議会議員。夫／長男(5歳)／次男(2歳)／実母／猫と共に中野区南台在住。

河合りなと中野区(活動実績) ●2011年の結婚を機に中野区へ。街に出やすく商店街も楽しい中野区が好きになる●長男の育休中、地域サークル「南台ママ」を立ち上げ、親同士の交流の場を作る●「なかの育マップ作成委員会」にデザインボランティアで参加●前区長の児

最新の詳細な政策は
WEBサイトにてご確認ください。
<https://kawairina.net>
Twitter @rina_kawai_rina Instagram kawairina0831
Facebook <https://www.facebook.com/kawairina0831/>
LINE <https://line.me/ti/p/EPuqE5p8IV>
河合りなを応援する「河合りなと中野の未来をつくる会」のライングループを作りました。個人ラインにご連絡をいただければご招待いたします。情報交換や交流など、みんなでつながっていきましょう。



ボランティア 募集中!
・お話の主催や一時保育協力
・ご友人に紹介いただける方
・ピラ配り、ポスター貼り
・中野区の子育てと一緒に考えてくださる方
少しでもお手伝いいただけることがありましたらぜひご連絡ください。

WEB アンケート 実施中!
中野区の子育て、リアルな声を紹介。Webアンケートを募集しています
河合りな アンケート 検索

TOPICS1 2019.5.15
立憲民主党・無所属議員団
会派を結成しました!



立憲民主党公認候補8名全員当選!
春の中野区議会議員選挙にて、立憲民主党公認候補全8名が議席をお預かりし、無所属議員1名が加わり、全9名で新しい会派を結成、自由民主党議員団に並ぶ最大会派となりました。全員で力を合わせて、頑張ってまいります。

会派とは 議会内で理念や政策を共有し活動を共にする、二人以上の複数の議員で結成される団体。議員数によって議会運営委員会などに出せる人数が変わります

TOPICS2 2019.5.24
臨時会にて議長・副議長・監査、
所属委員会が決まりました

河合所属常任委員会 厚生委員会
地域活動の推進、地域子育て支援・地域保健福祉、介護保険・高齢者支援、社会福祉、スポーツ、福祉事務所・保健所、保健衛生に関すること、など
河合所属特別委員会 地域包括ケア推進調査特別委員会
地域における見守りや支え合い活動の推進及び、地域包括ケア体制について、地域の子ども・子育て支援について、児童相談所の整備について、など

「誰もが暮らしやすい街づくり」が議題
第1回中野区議会臨時会にて、所属委員会が決まりました。私の所属するどちらの委員会でも、私が目指す「誰もが暮らしやすい街づくり」実現に向けて、みなさまの声を届けられるように、真摯に取り組んでまいります。

委員会とは 区議会で取り扱う議事はたくさんあり、幅広い分野にわたっているため、中野区では委員会をわけ、所管事項を議題に専門的・効率的に審査します



令和元年第三回定例会にて河合りな、初の一般質問！

以下、質問の一部を掲載いたします。

子育て支援について

1

「子育て先進区」に取り組む区の姿勢について

区長就任後も子どもにまつわる事件や事故が続いた。中野区の子育て家庭の不安を払拭していくためにも、今後すべての子育て政策は、**いっそう責任感をもって取り組むべき**。

中野区からの返答

事故はあってはならないと考える。再発防止と危機管理意識の徹底を。**子どもは宝であり、子どもと子育て家庭を地域全体で支え、使命感を持って力を尽くす覚悟**である。

2

即効的対策について

いまある施策や情報を最大限活用することは子ども達や子育て世帯を応援することにつながる。現在の区のHPのイベントページに子ども関連イベント情報を全て掲載しては、将来的には情報の一元化したHPを作って発信、子育て家庭へ区の情報が簡潔に届く仕組みを。

現在は各所管が必要性を判断し掲載している。一元化するなどわかりやすく発信する仕組みを検討する。

解説 平成30年の子ども子育てアンケートではHPから情報を得ている方は乳幼児調査で54.1%、就学児童で48.5%、**HPは情報提供に効果的**であることがわかります。

持続可能な社会のために中野区は「子育て先進区」を掲げました

少子高齢化は急激に進行し、中野区も2025年をピークに、今後働き手とされる15-64歳の生産年齢人口が減少、さらなる高齢化が予測されています。持続可能な社会を継続するためにも、当事者の声を届けます。



3

子育てを応援する雰囲気づくり

区役所3階の子ども総合相談窓口は子どもに関する場所なので、子どもの存在に配慮した窓口を目指す。遊べるスペース設置、子どもを連れた人を歓迎する窓口レイアウトへ。

さらにお子さんの安全に配慮し、安心して手続きが進められるよう、庁舎レイアウト変更時にあわせて検討する。

区の全ての公共施設において、絵本を置いたり、一角に子育てスペースを確保、各所で子育てを歓迎する雰囲気作りを。**区の姿勢は民間にも広がっていくこと**でしょう。

工夫する。いずれも狭いが図書コーナーを検討する。

4

中野駅にエレベーターがなく不便

2026年度西口設置においてバリアフリー化予定だが、現在子育て、障害などで**困っている方を完成予定の7~8年後まで待たせられない**。私は、駅への人的配置の増加またはボランティアの受け入れなど、要望書をJRへ出した。区も引き続き要望を。



できるだけ早期の西口改札実現や駅の安全性の担保など、必要性を認識している。駅の利用率などJRに情報提供している。開業まで引き続き配慮を求めます。



解説 産後鬱と呼ばれる精神不安、産後クライシスと呼ばれる夫婦の不仲や離婚など、産後には問題が発生しやすく、また虐待は厚生労働省の資料で**産後2年以内が最も多い**という統計が。

5

産前産後ケアの説明不足などについて

区の産前産後ケアは手厚いが、**利用時の複雑さは、母親が自ら選択し使用するにはハードルが高い**。さらなる窓口対応の平均的な質の向上、申し込み手続きの簡素化、対応の強化を。

今年度(2019.09~)から妊娠・出産・子育てトータルケア事業の案内冊子「**かんがるーブック**」を作成、わかりやすい説明に努めている。**往復葉書の申し込みは見直しを検討**する。

産後の生活を考える内容の拡充を

産前産後ケアは手厚くなってきたが、根強く残る女性が育児の主体であるという風潮の中、**激変する産後の生活を家族一丸で構築していくことも、産後の諸問題を防いでいくために重要**。子どもは社会全体で育てていくという共通認識を醸成していく必要がある。「こんにちはあかちゃん学級」や新しくなった「かんがるーブック」に、産後生活を考える内容の拡充を。母親だけでなく関わる家族や支援したい人が講座に来てもらえる声かけを。

現在は産後の心と体の変化にかかる講座を実施。産後の心身の変化についてはより具体的に丁寧な説明を。さらに祖父母参加などへの周知徹底を。

6

児童館などで一時保育の拡充を

一時保育の使いづらさは声が多く、予約もとりにくい状況です。区は保育園のみで実施しているが、身近な場所での柔軟な預かりが実現すれば、安心できる子ども達や保護者が多い。まずは現状の空き状況だけでもWEBサイトで可視化を。**児童館やすこやか福祉センターの空き会議室利用などで拡充、一時保育の利便性向上を**。

空き状況をただちに見える化は難しいが認識はある。予約のシステム環境、かたち、実現を研究していく。児童館の身近な預かりなどは他区事例をみて検討する。

7

保育の質ガイドラインについて

多くの保育園民営化が行われ、現場では多大な混乱が。安心して幼稚園保育園に通えるよう「保育の質ガイドライン」が必要。あり方を押し付けるのではなく、**多くの関わる人の意見を取り入れ、考え方をしっかりと浸透させていくことが重要**。

2018.11中野区子ども・子育て会議を諮問、区立・私立園、保護者などの委員の部会を作って検討。中間まとめ、年内には議会報告を。意見交換会をおこない、子ども子育て会議にて検証、まとめる。全ての教育・保育施設に配布、振り返りや区職員の巡回指導に活用、保育の質の確保・向上を。

8

児童館について

我が会派では、児童館の存続が必要と考え、あり方を検討。子育て団体ネットワークづくり、支援が必要な子どもや家庭へアウトリーチ機能、一時保育、中高生へ夕方~夜間開放、日曜月曜の開放など拡充要望が。機能の拡充を含め、新たな児童館のあり方について検討しては。

年々複雑化する子育てに関する課題解決に対応するため、必要である。地域における子育て視点の充実が重要、一定数配置が必要。機能拡充の検討をすすめている。

解説 アウトリーチ:援助を必要とする方へ、地域に向いて支援すること。

誰もが安心して

暮らせる街づくり

1

中野富士見町駅周辺バリアフリー拡充を



中野富士見町駅からの電車車庫横は東側が斜面のため歩道に斜めの箇所が多い。**駅からの重要な導線であり、困難を抱えた方などが安全に通うため、計画の対象にして欲しい**。区民の声を元に、**変化していく地域の現状に合わせてきめ細やかな対応**を。

重点指定区域でなくても道路の傷みにあわせて様々なバリアフリー化を行なっている。中野富士見町駅周辺も検討をすすめている。

2

包括的防災メニューを

防災力強化は地域の皆様のご理解と協力があってこそ。建築物と防災用品、課を超えて情報提供を行い、該当地域へ定期的にちらし発行や区報掲載など、家庭の実情に合わせて包括的に防災メニューを選べるようにしては。

一体的情報提供は必要性を感じているが、誤解を招かないよう、よりよい案内を検討する。

河合りな的一般質問全文はWEBサイトまたは区議会議事録にてご確認ください

